



安全データシート

ORBIT - Tire Dressing

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2021/05/21 改訂日: 2025/03/10 バージョン: 3.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: ORBIT - Tire Dressing
製品コード	: 115555621
製品グループ	: 取引製品

会社情報

製造業者

Brands Alliance s.r.o.

831 06

BratislavaPri Šajbách 1

T +421244871700

msds@brandsalliance.eu - www.brandsalliance.eu

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	タイプ G
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない

安全データシート

ORBIT - Tire Dressing

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する有害性	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性 (GHS JP) : 長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 環境への放出を避けること。 (P273)

廃棄 : 内容物／容器を地方、地域、国内の法令や国際的法令に順守した危険廃棄物又は特別廃棄物の収集場所廃棄すること。 (P501)

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン	0.105	C16H26O	(4)-1911	-	54464-57-2
イソトリデシルアルコール	0.49255	C13H28O	(2)-217	既存化学物質	27458-92-0
トリデセス-10	0.1732	-	-	-	69011-36-5

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般 : 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合 : ヒト及び動物に対する毒性データは知見されていないが、本製品は吸入危険有害性と見なされる。

症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 眼に入った場合 : 通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 飲み込んだ場合 : 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

安全データシート

ORBIT - Tire Dressing

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的被害を防止するためにも流出したものを作り出すこと。
-------	--

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。 裸火、火花禁止、禁煙。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
------------	-----------------

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。 可能であればリスクなく漏出をせき止める。
浄化方法	: 吸收剤の中で拡散した液体を吸収する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。
接触回避	: データなし

安全データシート

ORBIT - Tire Dressing

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

衛生対策

: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

処理時の追加危険有害性

: 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

保管

安全な保管条件

: 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料

: データなし

技術的対策

: 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料

: 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具

: 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具

: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具

: 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR) クロロブレンゴム (CR)	6 (> 480 分)	0,4-0,7		EN ISO 374-1 EN ISO 374 EN 374-2

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

: 液体

外観

: 液体

色

: 青色

臭い

: 果実臭

pH

: 約 7

融点

: データなし

凝固点

: < -20 °C

沸点

: データなし

引火点

: データなし

自然発火点

: データなし

分解温度

: データなし

可燃性

: データなし

蒸気圧

: データなし

相対密度

: データなし

密度

: データなし

相対ガス密度

: データなし

溶解度

: 水に可溶。

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)

: データなし

爆発限界 (vol %)

: データなし

動粘性率

: データなし

粒子特性

: データなし

安全データシート

ORBIT - Tire Dressing

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)
テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)	

急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、> 5,000 mg/kg (NTP TOX92 (2016)) との記載に基づき、区分外とした。
急性毒性 (経皮)	ラットの LD50 値として、> 5,000 mg/kg (NTP TOX92 (2016)) との記載に基づき、区分外とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg BW 動物 : ネズミ
LD50 経皮 ウサギ	> 5000 mg/kg BW 動物 : うさぎ

イソトリデシルアルコール (27458-92-0)

LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg BW 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 423 (急性経口毒性-急性毒性クラス法)
LD50 経皮 ラット	> 4000 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 402 (急性経皮毒性)
LD50 経皮 ウサギ	> 2600 mg/kg 出典 : IUCLID

トリデセス-10 (69011-36-5)

LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg BW 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 423 (急性経口毒性-急性毒性クラス法) 、ガイドライン : EU メソッド B.1 トリス (急性経口毒性-急性毒性クラス法) 、ガイドライン : EPA OPPTS 870.1100 (急性経口毒性)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 402 (急性皮膚毒性)
LD50 経皮 ウサギ	約 5960 mg/kg BW 動物 : ウサギ、動物の性別 : 男性
LC50 吸入 - ラット	> 1.6 mg/l air 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 403 (急性吸入毒性)

安全データシート

ORBIT - Tire Dressing

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

皮膚腐食性／刺激性 : 区分に該当しない

ORBIT - Tire Dressing	
pH	約 7
テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)	
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。なお、マウスの耳に 0.5~50% 溶液を塗布した結果、皮膚刺激性が認められた (NTP TOX92 (2016))。一方、ヒトではエタノールとフタル酸ジエチルの 1:3 及び 3:1 混合溶媒に本物質を 20~75% 溶解してボランティアの背部に適用した皮膚刺激性試験では、刺激性は認められなかつた (RIFM (2004))。いずれも詳細が不明なことから採用しなかった。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

ORBIT - Tire Dressing	
pH	約 7
テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性 : 分類できない

テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない

テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)	
皮膚感作性	ヒトにおいて、本物質の 2.5~40% 溶液を用いたパッチテストでは、複数の試験で陰性の結果が報告されているが、皮膚炎患者を対象としたパッチテストでは、少数例に陽性反応が認められている (Scognamiglio et al. (2013))。また、マウスを用いた皮膚感作性試験 (LLNA 法、2 試験) では陽性であったが、マウスの耳介腫脹試験 (詳細不明) 及びマウスを用いた皮膚感作性試験 (LLNA 法) では陰性であった (NTP (2010)、Scognamiglio et al (2013))。以上のように相反する結果が複数報告されており、分類できないとした。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)	
生殖細胞変異原性	In vivo では、雌雄のラット、マウスの末梢血赤血球小核試験で、ラットでは陰性、マウスでは雄で陰性、雌で equivocal (不明確な結果) であった (NTP DB (Access on October 2016))。In vitro では、細菌の復帰突然変異試験で陰性である (NTP TOX 92 (2016))。以上より、ガイダンスに従い分類できないとした。

発がん性 : 分類できない

テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)	
発がん性	データ不足のため分類できない。

生殖毒性 : 分類できない

安全データシート

ORBIT - Tire Dressing

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)

生殖毒性	妊娠ラットに本物質を妊娠 7~17 日まで強制経口投与した発生毒性試験において、母動物には低用量 (96 mg/kg/day) から体重増加抑制、摂餌量減少、流涎など影響がみられたが、胎児における発生影響は特にみられていない (NTP TOX 92 (2016))。しかし、生殖能・性機能への影響に関する情報がなく、本項はデータ不足のため分類できない。
------	--

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
-----------------	-----------------

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトについての情報はない。実験動物については、ラット、マウスを用いた 3 カ月間 (5 日/週) 経皮投与試験において、適用部位である皮膚の所見以外には、ラットでは区分 2 に相当する用量である 6.25% (31.25 mg/kg/day) (90 日換算値 : 22 mg/kg/day) で ALT 活性の減少のみがみられ、マウスでは区分 2 に相当する用量である 6.25% (125 mg/kg/day) (90 日換算値 : 89 mg/kg/day) で体重増加抑制、肝臓重量増加がみられている (NTP TOX92 (2016))。以上のように区分 2 相当の用量では根拠とする所見はみられていない。したがって、分類できないとした。
-----------------	--

トリデセス-10 (69011-36-5)

NOAEL (経口、ラット、90 日)	≥ 500 mg/kg BW 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 408 (げつ歯類における反復投与 90 日間経口毒性)
---------------------	---

誤えん有害性 : 分類できない

テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)

誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
--------	-----------------

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害

テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)	
水生環境有害性 短期 (急性)	データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)	データなし
LC50 - 魚 [1]	0.258 mg/l 出典: ECOSAR
EC50 96h - 藻類 [1]	0.487 mg/l 出典: ECOSAR
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	5.18 出典: EPISUITE

イソトリデシルアルコール (27458-92-0)

LC50 - 魚 [1]	0.55 mg/l 試験生物 (種) : Danio rerio (旧称 : Brachydanio rerio)
--------------	---

安全データシート

ORBIT - Tire Dressing

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

イソトリデシルアルコール (27458-92-0)	
EC50 - 甲殻類 [1]	0.391 mg/l 試験生物（種）：Daphnia magna
EC50 72h - 藻類 [1]	0.297 mg/l 試験生物（種）：Desmodesmus subspicatus（旧称：Scenedesmus subspicatus）
EC50 72h - 藻類 [2]	0.254 mg/l 試験生物（種）：Desmodesmus subspicatus（旧称：Scenedesmus subspicatus）
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	5.19
トリデセス-10 (69011-36-5)	
LC50 - 魚 [1]	12.76 mg/l 出典: EPISUITE v4.1
EC50 - 甲殻類 [1]	1.5 mg/l 試験生物（種）：オオミジンコ
EC50 72h - 藻類 [1]	3.4 mg/l 試験生物（種）：Desmodesmus subspicatus（旧名：Scenedesmus subspicatus）

残留性・分解性

ORBIT - Tire Dressing	
残留性・分解性	急速分解性でない
テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)	
残留性・分解性	急速分解性でない
イソトリデシルアルコール (27458-92-0)	
残留性・分解性	急速分解性でない
トリデセス-10 (69011-36-5)	
残留性・分解性	急速分解性でない

生体蓄積性

ORBIT - Tire Dressing	
生体蓄積性	データなし
テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	5.18 出典: EPISUITE
イソトリデシルアルコール (27458-92-0)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	5.19

土壤中の移動性

ORBIT - Tire Dressing	
土壤中の移動性	データなし
テトラメチルアセチルオクタヒドロナフタレン (54464-57-2)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	5.18 出典: EPISUITE
イソトリデシルアルコール (27458-92-0)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	5.19

安全データシート

ORBIT - Tire Dressing

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

トリデセス-10 (69011-36-5)

土壤中の移動性	111.3 出典: EPISUITE v4.1
---------	-------------------------

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。

地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当

正品名 (UN RTDG) : 非該当

容器等級(UN RTDG) : 非該当

輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法 : 監視化学物質（法第2条第4項）

優先評価化学物質（法第2条第5項）

労働安全衛生法 : 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）

海洋汚染防止法 : 有害でない物質（施行令別表第1の2）

有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）

有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）

外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第1の16の項

安全データシート

ORBIT - Tire Dressing

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。